

令和5年度 2年2組 学級経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

【やさしく】

気持ちよいあいさつをする子  
自分と友達のよさが分かる子

【かしこく】

よく考え、進んで学ぶ子

【たくましく】

楽しく運動し、目標をもって体力・  
気力の向上にがんばる子

2年2組 学級経営案

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1<br>学期 | 2<br>学期 | 3<br>学期 |
|---------|---------|---------|

|          |   |  |  |  |  |  |  |
|----------|---|--|--|--|--|--|--|
| 学級経営目標   | <p>自分も相手も大切にし、互いを認め合いながら<br/>明るく元気にがんばる子どもを育てる。</p> |  |  |  |  |  |  |
| 学級重点目標   | 1   | 気持ちのよいあいさつや返事ができ、自分でできることは自分で行い、最後までやりぬく子どもを育てる。 |  |  |  |  |  |
|          | 2   | 運動することの楽しさを知り、継続的に体力づくりに努める子どもを育てる。              |  |  |  |  |  |
|          | 3   | 話を最後までしっかりと聞き、自分の考えをしっかりと伝える子どもを育てる。             |  |  |  |  |  |
|          | 4   | 保護者との連携を密にしながら、子どもの健全育成に努める。                     |  |  |  |  |  |
| 学級経営の具体策 | I<br>豊かな心と健やかな体                                     | 1  | 道徳の授業を充実させ、その後普段の生活の中で実践できるようにする。                          |  |  |  |  |
|          |   | 2  | 係活動や当番活動など、自分の役割を果たすことで、達成感や自己有用感を育む。                      |  |  |  |  |
|          |   | 3  | 計画的に教育相談を行い、相談しやすい雰囲気をつくり、一人一人が楽しく学校生活を送れるようにする。           |  |  |  |  |
|          |   | 4  | 基本的な生活習慣の定着を図るために、「ハチツボネブ」の徹底や「早寝・早起き・朝ご飯」の定着を家庭と連携して取り組む。 |  |  |  |  |
|          |   | 5  | 様々な運動遊びを通して、運動する楽しさを味わわせ、体力の向上に努める。                        |  |  |  |  |
|          |   | 6  | 不審者や交通安全に関する指導を行い、自分の身の安全に気を付けるように心がけさせる。                  |  |  |  |  |
|          | II<br>確かな学力と個性の伸長                                   | 1  | 1単位時間の授業を工夫し、子どもたちが積極的に授業に参加できるように努める。                     |  |  |  |  |
|          |   | 2  | 読書指導や家庭読書を通して読書に興味をもたせ、進んで本を読む子どもの育成を図る。                   |  |  |  |  |
|          |   | 3  | 家庭学習の定着を図り、進んで学ぶ子どもを育てる。                                   |  |  |  |  |
|          | III<br>信頼される学校づくり                                   | 1  | 学級通信や学級PTAを通して、子どものよさ、学習の様子を知らせるように努める。                    |  |  |  |  |
|          |   | 2  | 子どもの声や保護者からの相談などには、家庭と連携しながら、問題の早期解決ができるように努める。            |  |  |  |  |
|          |   | 3  | 地域行事に積極的な参加を促し、地域の人たちにも支えられていることに気付かせる。                    |  |  |  |  |